

【検討事項】13の要求事項について

1. スパイラルアップのレベル分けについて

(資料13)

- L0: 例外規定
- L1: 要求事項
- L2: ガイドライン内での推奨事項

2. 項目自体 (資料14)

- 統廃合
- 削除
- 追加

3. 項目の内容の変更(名称含む) (資料14)

4. 運用細則(仮称)

ガイドラインに入らない内容については運用細則を中央事務局が策定し、環境省の確認を得る

検討する観点(例)

A: ISO14001:2015の内容に基づく検討

例:

- 外部のステークホルダーからの期待
(要求事項2「方針」、要求事項5「目標と計画」)
- リスク
(要求事項項目3「環境への負荷」)

B: Eco-CRIPに基づく検討

例:

- コスト情報の取り扱い
- 方針(経営方針、創業理念に基づく策定)